

2025 年 8 月 29 日

ウィップル道子

「セブ島（フィリピン）カルチャーツアー2025」ご報告

1. スケジュール 2025 年 8 月 8 日（金）～12 日（火）※ミチコ先生とヒカリ先生は関空から出発

2025 Cebu Tour Timetable					
時間	8/8 (Fri)	8/9 (Sat)	8/10 (Sun)	8/11 (Mon)	8/12 (Tue)
9:00	Free Time	Free Time	ファミリー・デー 8:00 出発 14:00 解散	8:00 出発 11:00 到着 Chez Sky	5:00 ホテル発 6:00 空港着 8:10 セブ発
10:00					
11:00					
12:00					
13:00	13:00 成田集合	Daredemo Hero Tour 10:00-17:00 事務所 → お墓 → 観光→ゴミ山 → QQ Beach Front	ホテルへ移動	Lunch Bojo River Hermit's Cove	13:55 日本着
14:00					
15:00	15:05 成田発				
16:00					
17:00	空中	ホテルへ移動	Relax	17:00 出発 20:00 到着	
18:00					
19:00	19:20 セブ着	Mang Inasal	個別ディナー	Light Dinner	
20:00	ホテルへ移動				
21:00	Light Dinner	Free Time	英語で個別報告会		
22:00			Free Time	Packing	
23:00	Free Time				
23:30	1泊目	2泊目	3泊目	4泊目	

2. 宿泊

Seda Central Bloc Cebu

セブ島の「IT パーク」にあるホテルで、アヤラ（ショッピング）モールに直結していて便利な立地。快適。

3. 移動

・日本ーフィリピン：

行き：Cebu Pacific 関空 08：55→マクタン・セブ国際空港 12:40（4 時間 45 分）

帰り：マクタン・セブ国際空港 08：40→ニノイ・アキノ国際空港 10：15

ニノイ・アキノ国際空港（マニラ）13：25→関空 18：40

・セブ島：Grab（アプリ）で、タクシーよりも安くて便利で安全。車内も綺麗。運転手の英語は訛りが強く聞き取りにくいですが、こちらが話す英語は理解できているようで特に問題なし。

4. 主なイベント

①Daredemo Hero Tour

【セブ国際ボランティア】NPO 法人 DAREDEMO HERO

<https://daredemohero.com/> の活動を見たりやフィリピンの子どもたちとふれあう



感想：

- ・ 2019 年に行ったときに見た Daredemo Hero 代表の内山順子さんのバイタリティーが全く変わらず、更にパワーアップしていることに驚いたミチコ先生。
- ・ ヒカリ先生は本当に楽しそうで積極的に活動に参加。
- ・ 前回と同じくごみ山で泣いてしまい落ち込んだミチコ先生。

②QQ English ビーチフロント校見学

https://www.ryugaku-onebridge.com/schools/detail/157?gad_source=1&gad_campaignid=1449173213&gbraid=0AAAAADfFWgCon9h8z3LS7oZiG3Db4VYLD&gclid=CjwKCAjw2brFBhBOEiwAVJX5GLNhZelQLNE05TDmvXr9zFrRW09diQuTzgsHCxkNAUjAvxdphJdKxoCQfsQAvD_BwE

- ・ 2019 年に見学したマクタン島あった QQ English シーサイド校は、2021 年の大型台風の被害で閉校し、14 階建てのビルが丸ごと英会話学校に。個人的にはシーサイド校が素朴で気に入っていたが実際に見学してみると、新しいビーチフロント校の方が清潔感があり広くて快適だった。

③ファミリー・デー

<https://daredemohero.com/51729/>



感想：今回はこの活動をヒカリ先生に参加してほしかったので、セブ島の子どもたちとの交流やヒカリ先生の反応を見たり、入るつもりでなかった海でセブ島の子どもたちと一緒に泳いだりして、他の日本人のメンバーがホテルに帰った後もボランティアスタッフと一緒に最後まで残ってのんびりと時間を過ごせたのもよかった。

⑤Bojo River の川下りとフィリピン人先生の自宅訪問



感想：Bojo River の川下りは、ジュラシックワールドのような雰囲気海に出た辺りで海底の魚が見れたのもよかった。

フィリピン人の先生の自宅訪問は、家畜と自然が一体となった生活や先生のご家族（祖父母）との伝統的な挨拶などフィリピンの文化に触れることができた。水が出にくいことの不便さも経験した。